

・ 未来年表 ・

- 2002.5.31 ~ 6.30 -

竹野 萬雪 編

この2002ワールドカップ版「未来年表」は、元版のなかからW杯関連項目を選び、更に増補したものです。各項目の内容は虚実が混在しており、一般に実現性の保証はありません。

2002. 5.31【朝鮮半島】韓国・日本共同開催の「2002ワールドカップ韓国/日本大会」が開幕、ソウルで開会式が行われる。 [~6.30。] フランスvsセネガル戦で幕を開ける。フランスが勝つ。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) (×セネガルが1-0で勝つ。)

2002. 6. 2【日本】埼玉のイングランドvsスウェーデン戦で、前半38分、ケガを克服してスタメン出場したベッカムの右サイドからグラウンダーのスルーパスにオーウェンが走り込んで先制。後半13分には、またもやベッカムが自らDFふたりを切りさいてドリブルシュート。この2点を守り、2-0で快勝する。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) (×1対1で引き分け。)

2002. 6. 2【日本】茨木のアルゼンチンvsナイジェリア戦で、前半31分、ナイジェリアのカヌが先制ゴール。後半11分、ロペスが同点にするも、直後の16分、またもやカヌにゴールを許す。後半39分、精彩を欠くクレスポに代わり投入されたパティステュータが、ロスタイムにサネッティからのワンバウンドのクロスをダイレクトハーフボレーで2-2。衝撃的な同点劇で開幕戦を引き分ける。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) (×アルゼンチンが1-0で勝つ。)

2002. 6. 4【日本】H組日本チームの第1戦、ベルギーとの対戦が埼玉で行われる。後半37分、鈴木が豪快にダイレクトボールを決めて先制。1点を守りきる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) NHK総合テレビが中継し、平均視聴率が65%となる。(NHK会長 海老沢勝二、『タ刊フジ』2002.6.2)

2002. 6. 4【韓国】クァンジュで、C組中国vsコスタリカが対戦、中国が勝つ。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6. 7【日本】札幌のイングランドvsアルゼンチン戦で、前半17分、セットプレイからのこぼれ球にヴェロンが反応して先制点をあげれば、32分にオーウェンが持ち前のスピードでDFを置き去りにして同点。後半23分、再びオーウェンが個人技のゴールで逆転。終了間際の43分、アイマールのアーリークロスに“消える動き”で反応したパティがGKと1対1となり、落ち着いて決めて同点。アルゼンチンは決勝トーナメント進出に望みをつなげる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) イングランドvsアルゼンチン戦で、悪名高いフーリガンが暴れ、死傷者を出す。(水木 楊「失業五〇〇万人の近未来学」『文藝春秋』2002.2)

2002. 6. 7【日本】神戸でナイジェリアは、0-1でスウェーデンに敗れる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6. 8【韓国】C組中国vsブラジルが、ソギポで対戦し、中国がブラジルに1-0で勝利するという今大会最大の一番狂わせを演じる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6. 9【日本】日本vsロシアが横浜で対戦し、チャンスも少なく0-0のスコアでドロー。ロシアも1勝1分とし、得失点差で日本はH組2位となる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) 膠着状態が続いた後、後半二、三十分で日本はゴン(中山)を投入し、ギリギリで1点をゲットして勝つ。(コラムニスト 泉麻人「日本順位大予測」『タ刊フジ』2002.6.2) フジテレビ系で中継され、68%の高い平均視聴率をあげる。(NHK会長 海老沢勝二、『タ刊フジ』2002.6.2)

2002. 6.11【東アジア】金環食が観測できる。日本では部分食が見られる。

2002. 6.11【日本】ワールドカップ予選リーグE組のドイツは、カメルーンにも破れ、1次リーグ敗退する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25)

2002. 6.12【日本】ワールドカップ予選リーグF組のイングランドは、ナイジェリアにも破れ、1次リーグ敗退する。

(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) イングランドvsナイジェリア、運命の第3戦は、ヘスキーとオーウェンが2発ずつ決めて、4 - 0とナイジェリアに圧勝でF組1位が決定する。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.12【日本】アルゼンチンは宮城でスウェーデン戦、クレスポとロペスが決めて2 - 0とし、F組2位で決勝進出となる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.13【日本】大分で、メキシコとイタリアが対戦し、引き分ける。イタリアは3引き分けで予選落ちとなる波乱が起こる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.13【韓国】ソウルで、中国はトルコに敗れ、2勝1敗となる。C組の3チームは2勝1敗で並ぶが、得失点差でトルコが1位、中国は3位で予選落ちとなる。トルコは、決勝トーナメントで日本と対戦することになる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.14【日本】H組日本は第3戦をチュニジアと大阪で対戦、前半8分、三都主がドリブル突破で先制点をゲット。その後はチュニジアの拙攻も手伝って1 - 0で終了。勝ち点7で、決勝トーナメント進出を果たす。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) 前半はトラベルシとジャジリの若いコンビに先制されてしまう。でも、後半は柳沢が鈴木が一発を決め、アレックスの左からの鋭角的なパスをヒデ(中田)が決め、逆転。投入された秋田がコーナーからのセットプレーをガツンと決め、3 - 1で決まり。日本は2勝1敗で予選を突破する。(コラムニスト 泉麻人「日本順位大予測」『タ刊フジ』2002.6.2) 日本は1勝1敗1分けで、決勝トーナメントに進出する。(水木 楊「失業五〇〇万人の近未来学」『文藝春秋』2002.2) ワールドカップ予選リーグで、日本代表は、ベスト8に入る。(『カルチョ2002』編集長 富樫洋一、「2002年ニッポンの危機大予測100」『週刊現代』2002.1.5-12) テレビ朝日系で中継され、平均視聴率は57%となる。(NHK会長 海老沢勝二、『タ刊フジ』2002.6.2)

2002. 6.14【韓国】韓国代表はポルトガルと対戦し、あっさりと予選ラウンドで敗退する。(村上 龍『希望の国のエクソダス』『文藝春秋』1999.12)

2002. 6.15【日本】決勝トーナメントが新潟で始まる。A組1位のフランスとF組2位のアルゼンチンが対戦、初先発となったパティスチュータが爆発し、ハットトリックの大活躍。ヴェロンも1点を決めて、4 - 0でアルゼンチンが圧勝する。フランスは1回戦で姿を消す。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.15【韓国】決勝トーナメントがソギポで始まる。E組1位のドイツとB組2位の南アフリカが対戦、1 - 0でドイツが準決勝に進出する。

2002. 6.16【日本】予選リーグF組を1位で突破したイングランドと、A組2位のウルグアイが、大分スポーツ公園総合競技場ビッグアイで対戦。イングランドは激戦の予選グループで燃え尽きたのか、ウルグアイのレコバにFKを直接決められ、あとは徹底して守られて、1 - 0で敗れる。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11) かねてから「フリーガン警報」が発令されていて、そのとおりに試合は大荒れとなる。サポーターに紛れ込んでいた本場イングランドのフリーガンと、W杯予選時にオーストラリア選手団を攻撃したウルグアイ・サポーターが会場内外で正面から激突する。(「恐るべきW杯テロが日本全土を襲う!」『プレイボーイ』2002.4.30)

2002. 6.17【日本】予選リーグH組を1位で突破した日本とC組2位のトルコが、神戸で対戦、日本が勝ってベスト8に入り、準々決勝に進出する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) 前半は中田が徹底マークに遭い、見せ場はなし。後半開始直後の7分、稲本がセンターサークル付近からトルコDFラインの裏をつくロングフィールドを放つ。それに反応してヒデが走り込み、背後の頭上から落ちてくるボールをトラップし、ワンバウンドさせてシュート! キーパーは反応できず、ゴールの右上に突き刺さる!! その後、トルシエはすかさず守りに入る。15分、市川に代えて明神を投入、続いて25分、柳沢を下げて服部を入れ、「フラット5・3ボランチ」の超守備的な布陣にする。八カン・シュクルには中田浩二か松田がマークにつき、トルコの反撃をかわし、結局日本が1 - 0でトルコに勝つ。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.21【日本】前回ワールドカップ大会優勝のフランスが、準々決勝でブラジルに敗れる。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25)

2002. 6.21【日本】準々決勝に進出した日本が、F組1位で勝ち上がったアルゼンチンと対戦し、敗退する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) 日本がF組2位のアルゼンチンと対戦し、森岡のクリアミスに抜け目なくつけこんだクレスポに2点入れられ、敗退する。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.21【韓国】ドイツが、ポルトガルとウルサンで対戦、0 - 0でPK戦勝ち。準決勝に進出する。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6.25【韓国】ワールドカップ準決勝でイタリアとカメルーンがソウルで対戦し、イタリアが決勝に進出する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) 準決勝で、ドイツvsスペインが対戦し、セットプレーからヤンカーが2点先取、スペインもラウールが1点決めて追いつがるも、ドイツが堅守して2 - 1で決勝に進出する。

2002. 6.26【日本】ワールドカップ準決勝でアルゼンチンvsブラジルが埼玉で対戦し、アルゼンチンが決勝に進出する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) アルゼンチンvsブラジル戦は、圧勝を重ねて勝ち上がってきたアルゼンチンが有利と思われるっており、その流れのとおり、前半開始直後の7分、ロペスのシュートをGKがはじいたところにクレスポがつめて、アルゼンチンが先制。しかし、ブラジルは耐え、前半を0-1で折り返す。後半18分、ペナルティエリア右側からロナウドがセンターリング リバウドのハーフボレーで同点。そのまま延長も両者得点できずPK戦になる。パティとヴェロンが外し、3-2でブラジルが勝利する。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

2002. 6. - 【日本・朝鮮半島】日本と韓国の各地で「2002ワールドカップ韓国/日本大会」の試合が行われる。全世界のテレビ視聴者数は延べ400億人、観客動員は400万人を数える。(国際サッカー連盟(FIFA)、1996.5.30) 予選リーグをぎりぎりの成績で突破した日本代表は、決勝ラウンドの1回戦で強豪チリをPK戦の末に破るが、ドイツに敗れ結局ベストエイトに終わる。(村上 龍『希望の国のエクソダス』『文藝春秋』1999.12) 日本代表は、ベスト4進出という画期的な成功を収め、欧米列強に比肩しうる勢力となる。(スポーツ・ジャーナリスト 二宮清純、『21世紀大予測』1999)

2002. 6.30【日本】韓国・日本共同開催の「2002ワールドカップ韓国/日本大会」の決勝戦が、横浜で行われ、フランスが優勝する。以下、アルゼンチン、ブラジル、イタリアの順。(イタリア紙『ガゼッタ・デッロ・スポルト』セルジョ・ディ・チェザーレ、「2002年ニッポンの危機大予測100」『週刊現代』2002.1.5-12) アルゼンチンが、国は破産しているがW杯は優勝する。(三連星「経済観測子座談会」『毎日新聞』2002.1.1) アルゼンチンと対決したイタリアが優勝する。(「W杯特集」『Sports Illustrated』2002.5.27, 『朝日新聞』5.25) 決勝戦はブラジルvsドイツが対決。前半12分、ペナルティエリア外からヤンカーがミドルシュートを放ち、GKがはじいたところにダイスラーが走り込み、ドイツが先制。それでカナリア軍団の攻撃に火がつく。前半37分、リバウドの芸術的な浮き球によるDFラインの裏をふわりとつくパスにロナウジーニョが走り込んで同点。さらに、前半ロスタイム、ペナルティエリア付近でロナウドが突破を図ろうとしたところをDFがたまたまズラす。フリーキックをロベルト・カルロスが蹴ると思いきやスルー。タイミングをズラしてリバウドが直接狙ったボールはゴール左上の隅に吸い込まれる!! 後半はブラジルが見事なパス回しで時間を使い、2-1で5度目の優勝を飾る。(「週プレ独走!最強シミュレーション」『プレイボーイ』2002.6.11)

「未来年表」元版は、下記のWebサイトの「未来年表」の項目で見られます。

『マルチメディア・インターネット辞典(Dictionary of MultiMedia and Internet)』(X Digital Creators Conference)
URL: <http://www.jiten.com/>